



ニッシン工業便り



第 14 号 2021/10/1 発行

☆-★-☆-本メールは、過去に名刺交換をさせていただいた方へ送信しています-☆-★-☆



こんにちは！

ニッシン工業の松村です。

秋は紅葉が綺麗ですね～。

一度でいいので秋の京都で嵐山の紅葉を見てみたいです。

今回はそんな紅葉のお話です。

なぜ秋になると葉の色が変わるのでしょうか？

それは冬に向けて葉を落とすためです。

冬は光合成を行って得られるエネルギーよりも、

光合成をするエネルギーのほうが多くかかってしまうため

葉を落としてエネルギーを節約します。

葉を落とす準備段階で起きるのが紅葉です。

光合成を行っていた成分はクロロフィルといって緑色なのですが

クロロフィルが葉の中から減ってくると

葉がもともと持っていたカルチノイドという成分の黄色が見えるようになってきます。

クロロフィルが分解される際、樹木にとっての有害物質が出るのですが

その有害物質から樹木を守る為にアントシアニンという赤色の色素が葉へ移ります。

そうして葉の色は緑→黄色→赤へ変化していくのです。

★ — — — ★ — — — ★ — — — ★

最近のニッシン工業の変化

★ — — — ★ — — — ★ — — — ★

弊社も時間とともに少しずつ変化しています。

新しい機械を入れたり、毎年年末になると壁や床を塗り替えたり・・・

今回は以前紹介させて頂きましたコイル製造部門に続き、

板金加工部門の紹介になります。

新しいベンダーが入りました。

ベンダーとは鉄板を折り曲げる機械で、下側の V 字金型に鉄板を置き、上側から V 字金型でプレスして 90° など指定の角度に仕上げます。

今回導入した写真のベンダーは幅 2500mm まで加工ができ、手などが挟まれない様にセンサーが付いていて安全に作業ができる配慮がされています。

と言う事でベンダーの作業者へインタビューしてみました！



松村「大きいですね！！新しいベンダーの使い心地はどうか？」

板金加工 K さん「特に使い易く感じる場所は、カットの角度や曲げの角度の機械セットがしやすいところ。」

このほかにも下記写真の様な鋼板を収納し必要な材料を自動で呼び出せるソリッドストッカーが2基となりました。



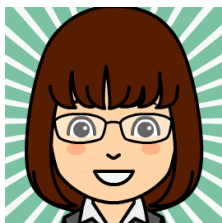
松村「ソリッドストッカーが2基になり、便利になったと感じる点はありますか？」

板金加工 K さん「使用する鋼板のみを安全に素早く取り出せるところです。おかげさまでタレパンに移動

するのも簡単になりましたよ。」



タレパンで加工した板をベンダーで曲げて、
画像のようなコイルケース、ベルトカバーや横引き出しのフィルターボックスなどを社内製作することができます♪



最後まで読んでいただき、ありがとうございました！

工場には大きな機械がたくさんあって
それを安全に動かせる事ってすごいと思いました。

ホームページは [こちら](#) です！

※ご不明な点は下記へご連絡願います。

=====

株式会社ニッシン工業 相模原工場

〒252-0244 相模原市中央区田名 4546

T E L : 042-762-8211 F A X : 042-762-8222

=====